

# 巻頭の辞

神戸市立病院紀要第 62 巻が刊行の運びとなりました。神戸アイセンター病院の栗本院長による緑内障における新しい疾患概念についての総説をはじめ、論文を投稿していただいた皆様に感謝いたします。また、令和 5 年度に神戸市民病院機構の各病院から発信された多くの学術研究発表がまとめられています。本紀要の刊行に携わっていただいた皆様のご努力に、敬意と感謝の念を表したいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の流行期には学会発表の形態が大きく様変わりしました。学会場に足を運ばなくても、WEB 上で発表、視聴ができるようになりました。ある意味学会には参加しやすくなりましたが、十分な議論が尽くされているのかが疑問に思うことも多々ありました。最近では多くの学術集会对面で開催されるようになり、厳しく批判されることもあります。より自分の研究を客観的に捉えることが可能になったと思います。臨床で経験した知見、創意工夫を論文や学会発表を通して広く発信することは、医療者の責務と考えます。

神戸市民病院群の皆様には、この 3 年間の未曾有の新型コロナ災害を乗り越えて、臨床・研究においてさらに躍進できると確信しています。この紀要は、私たちの 1 年間の努力の賜物です。是非、神戸市立病院紀要に目を通して、神戸市民病院機構の立ち位置を確認し、さらなる高みを目指して欲しいと願っています。

神戸市立西神戸医療センター

院長 京 極 高 久